



こんにちは

日本共産党

2011. 1. 1 No.7

富田 たく

です

事務所 高円寺南3-30-12 電話 3314-5551 FAX 3318-1492
メール info@tomitaku.jp ホームページ http://www.tomitaku.jp

2011年 政治決戦の年 必勝を決意!

あけましておめでとうございます

あけまして、おめでとうございます。

昨年、私・富田たくは区議会議員選挙に立候補する決意をし、人生の大きな転換の年となりました。みなさまからのご支援に心から感謝申し上げます。

この4カ月の間、地域のみなさま方と接し、さまざまなお声を頂戴いたしました。

生活への不安、過酷な労働実態、集合住宅の建て替え問題、小中学校の統廃合、まちのバリアフリー化のご意見、特別養護老人ホームや認可保育園増設の切実な声。これらはすべて政治と密接に関係していることを実感しております。

政治を変えない限り、区民の苦悩は解決できません。みなさまの声を議会で代弁し、政治を変える先頭に立つのが区議会議員であるという使命を強く自覚しました。

この地域では、山崎一彦さん、真々田邦義さん、そして藤原淳一区議へと引き継がれた区民生活を



守る日本共産党の大事な議席・バトンを、私・富田たくは何としても受け継がなければなりません。

今年は、いっせいで地方選挙を4月にひかえ、いよいよ政治決戦の年をむかえました。区民が主人公の新しい杉並区をつくっていくために、私・富田たくは、必勝を決意しています。

年頭から、街頭・駅前政策を訴え、地域を駆けめぐって、要求実現を目指す活動をすすめています。

今年もみなさまのご支援を心よりお願い申し上げます。

厚生労働省に要請

雇用・認可保育所増を

日本共産党東京都委員会と地方議員団は12月16日、人間らしい雇用の保障、認可保育所増設による待機児解消、子ども医療費無償化、安心で

参議員が同席しました。参加者は、住居・仕事を失った人たちへの生活支援について「福祉事務所には朝から相談に訪れた人の行列ができ、区も苦慮している」などと述べ、国が越年策を早急に示すよう要望。新規学卒者が安心して就職できるよう国が大企業に求人拡大を働き掛け、中小企業が雇用拡大できるよう支援することを求めました。



保育・子育てでは、各自自治体で保育所待機児が増加していることを強調。保育の公的責任を否定する「子ども・子育て新システム」の検討中止、公的保育制度を堅持して認可保育所を整備するよう迫り、出産育児一時金の増額を要求しました。

きる国民健康保険などを求め、厚生労働省に要請しました。議員・候補者ら60人が参加。私・富田たくも参加しました。笠井亮衆議員、田村智子

厚生労働省側は仕事と住居を失った人の年末対策について「12月28日まで支援に取り組み、その後はそれまでの状況を踏まえ考えたい」と回答。東京の出産費用が全国平均を大きく上回ることに ついて「さらに調査し、必要な出産育児一時金の額を検討したい」と述べました。

厚労省側は仕事と住居を失った人の年末対策について「12月28日まで支援に取り組み、その後はそれまでの状況を踏まえ考えたい」と回答。東京の出産費用が全国平均を大きく上回ることに ついて「さらに調査し、必要な出産育児一時金の額を検討したい」と述べました。

和田「あったかサロン」で区民とゲームを楽しむ



女性後援会から激励

地域の日本共産党・女性後援会の集まりが、12月16日にありました。

私・富田たくと妻が、お誘いを受け、参加しました。区議選での必勝を願い、軽食を囲み、夫婦ともに激励を受けました。参加者から「好きな食べ物は何？」などの質問もあり、会がもりあがりました。

